

論点等説明シート			
事業名	地下街防災推進事業	担当部局庁	都市局
事業についての論点等			
○事業の背景			
<p>○地下街は全国の拠点駅等に存在し利用者も多数に上っており、大規模地震の際には、利用者等が混乱状態となることが懸念される。また、天井等の老朽化が進んでいるほか、駅等からの避難者の流入も想定されることから、ハード・ソフトからなる利用者等の避難のための安全対策を講じていくことが必要である。</p> <p>○「地下街の安心避難対策ガイドライン(H26.4)」を基に、地下街管理会社等に対して、天井板等設備の安全点検や、周辺の鉄道駅等との連携のもと、地下街の安全対策のための計画の策定を支援するとともに、計画に基づく避難通路や地下街設備の改修等を支援することで、民間投資を通じた地下街の安心避難対策の充実を図る。</p> <p>○近年の集中豪雨等を鑑み、浸水被害を軽減し、災害発生後の公共的通路の早期復旧を可能とするため、換気設備・排煙設備の開口部の改修、非常用発電機の高所への整備など、浸水対策支援も平成28年度より新たに追加した。</p>			
○論点			
<p>①執行が進まない一因として、地下街防災対策の緊急性及び重要性が地下街管理会社、入居テナント、地下街が所在する地方公共団体に十分認識されていないのではないか。</p>			
<p>②地震発生時や浸水時への防災対策の取り組み状況を公表するとともに、実施した効果を示すべきではないか。</p>			
<p>③目標最終年度は平成30年度となっているが、現在の執行状況を見る限り、事業が滞っているように見えるが、防災推進計画を全地下街で策定出来るように改善すべきではないか。</p>			